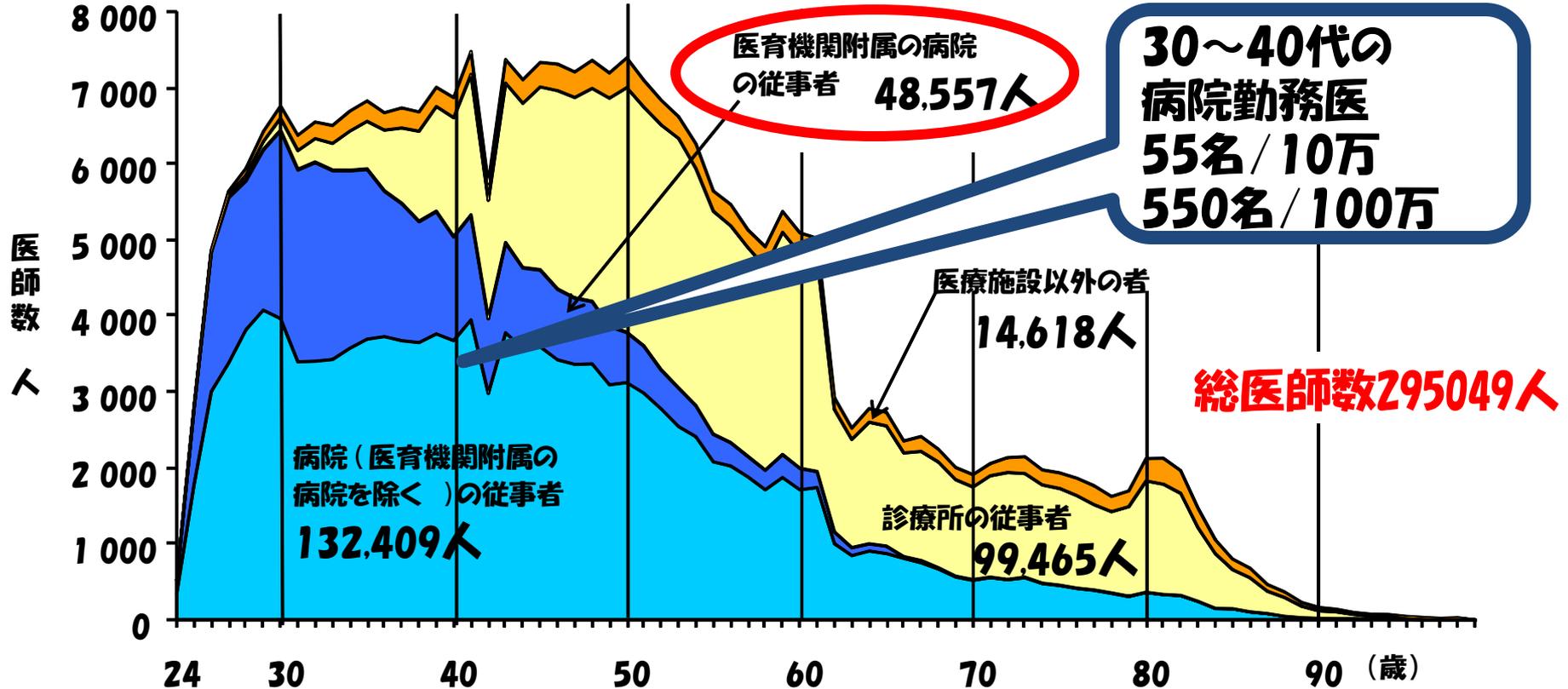


# 施設の種別に応じた医師数

厚生労働省3師調査統計表6(参考1)  
H22.12.31現在最新データ

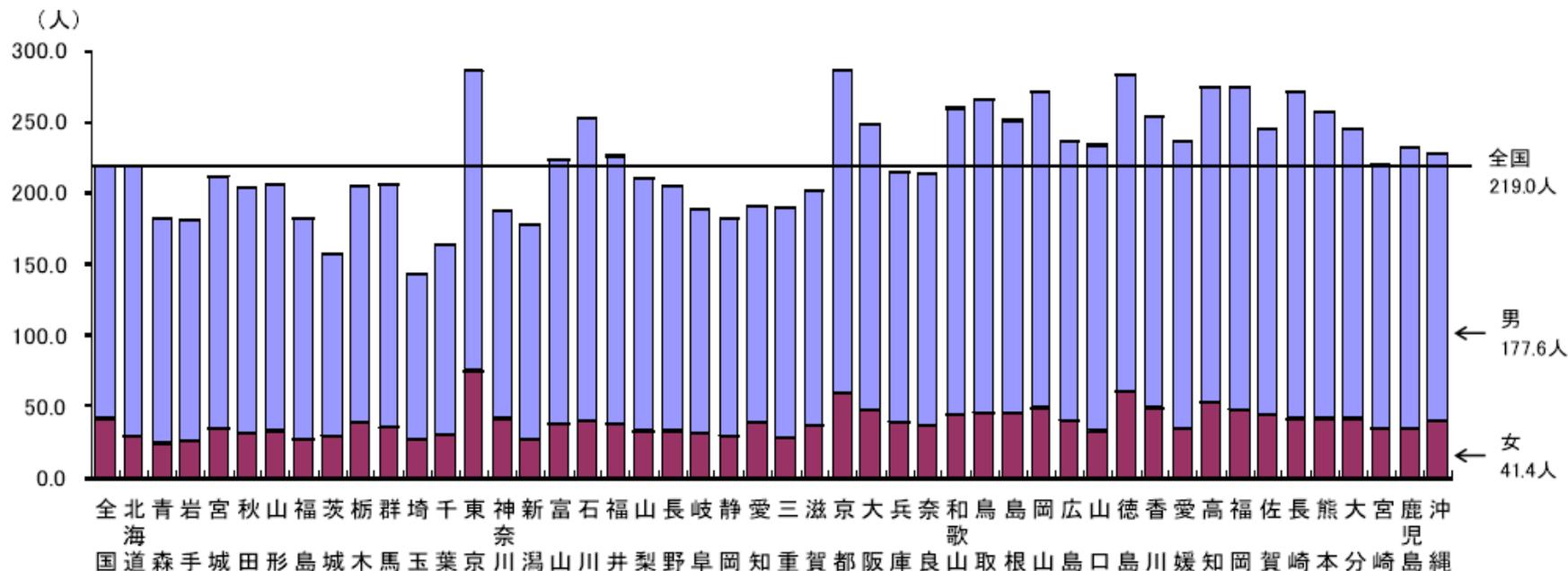


**医育機関の教員 (医師) 約4万8千名**  
**全国の医学生 (6学年分) 約4万5千名**  
**= 医学生1名に1名の臨床教員を要す**

**1366名の定員増**  
 $1366 \times 6 \text{ 学年} = 8196 \text{ 名}$   
**教育レベルの維持には**  
**いずれ約8000名の**  
**教員増が必要**

図7 都道府県（従業地）別にみた医療施設（病院・診療所）に従事する人口10万対医師数

平成22（2010）年12月31日現在



# 医学部定員の推移

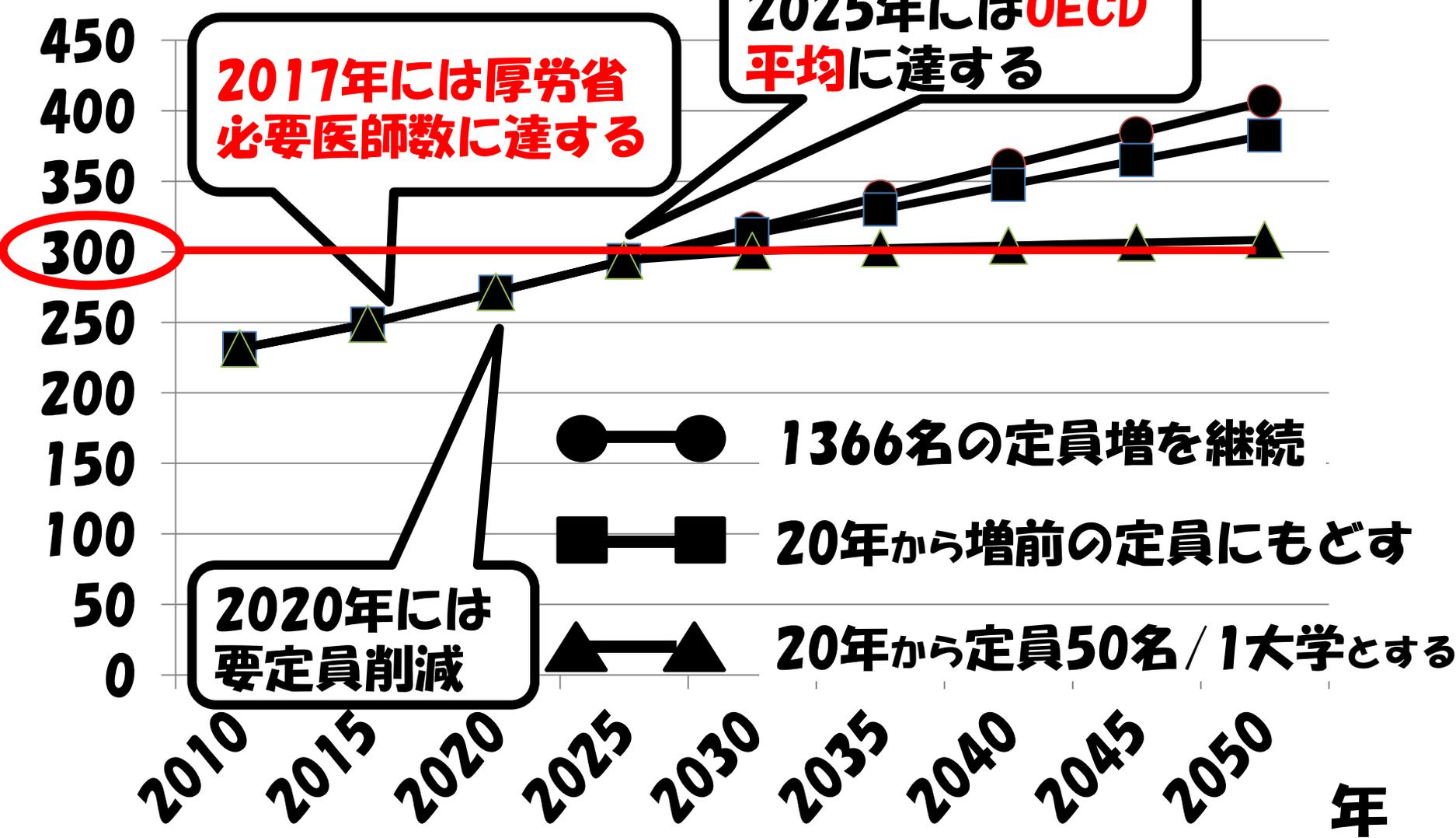
	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
<b>全国国公立大学 (79大学)</b>	<b>7,625</b>	<b>7,793</b>	<b>8,486</b>	<b>8,846</b>	<b>8,923</b>	<b>8,991</b>
<b>対 H19年</b>		<b>+168 (+2%)</b>	<b>+861 (+11%)</b>	<b>+1,221 (+16%)</b>	<b>+1,298 (+17%)</b>	<b>+1,366 (+18%)</b>

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
<b>被災3県大学 (福島県立医大、東北大医学部、岩手医大)</b>	<b>260</b>	<b>285</b>	<b>320</b>	<b>349</b>	<b>355</b>	<b>375</b>
<b>対 H19年</b>		<b>+25 (+10%)</b>	<b>+60 (+23%)</b>	<b>+89 (+34%)</b>	<b>+95 (+37%)</b>	<b>+115 (44%)</b>

# 今後の医師数予測

厚生労働省3師調査から

医師数 / 10万



2017年には厚労省  
必要医師数に達する

2025年にはOECD  
平均に達する

2020年には  
要定員削減

- 1366名の定員増を継続
- 20年から増前の定員にもどす
- ▲ 20年から定員50名 / 1大学とする

## 医師養成事業における今後の医師養成数について(平成20年度以降に貸付したもの)【岩手県】

(単位:人)

区 分	和暦	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
	西暦	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
(新医師確保総合対策、緊急医師確保対策に伴う定員増)		(4年目)	(5年目)	(6年目)	(7年目)	(8年目)	(9年目)	(10年目)								
(地域の医師確保の観点からの定員増)		(2年目)	(3年目)	(4年目)	(5年目)	(6年目)	(7年目)	(8年目)	(9年目)	(10年目)						
<b>養成医師数A</b>		(1)	(5)	(9)	47	81	121	180	230	279	307	337	369	375	350	325
国の実態調査に基づく必要医師数 C (H22年6月時点の県立・市町村立・公的病院等からの申告数)		293	293	293	293	293	293	293	293	293	293	293	293	293	293	293
<b>A - C</b>		△ 292	△ 288	△ 284	△ 246	△ 212	△ 172	△ 113	△ 63	△ 14	14	44	76	82	57	32

必要医師数を満たす

375名:義務履行医師の最大数

